



## 佳作一般の部

オリオンを誉め殺したる鄙の闇

居並小(東京都中野区)

齢積み星の数ほど恋したい

大石直美(福岡県宗像市)

星月夜ゴミ出し行くのもスキップで

黒瀬三保子(岡山市南区)

流星よ君に頼らず吾は行く

梅川英子(秋田県由利本荘市)

星月夜秤にかける粉砂糖

大野美波(埼玉県人間市)

オリオンに背中押されてプロポーズ

古賀由美子(佐賀県唐津市)

三・二闇を救ひし星の黙

樽谷幸龍(千葉県船橋市)

風が風追い越してゆく星今宵

鈴木良二(埼玉県上尾市)

星降る夜スローなワルツ踊ろうよ

竹内清(愛知県刈谷市)

あかときや冬のオリオン真正面

竹内佐永子(愛知県刈谷市)

病室の巡回果てて星月夜

吉沢道夫(長野県長野市)

あらためて言葉はガラス天の川

和田康(奈良県奈良市)

天の川落つる海へと漕ぎ出でぬ

山島美紀(三重県伊賀市)

好きならば告白せよと冬銀河

古賀敏真(佐賀県鳥栖市)

天狼に影すら息を呑んでいる

井上諒介(奈良県奈良市)

星見上げ空海と会う夢を見る

松浦博孝(大阪府交野市)

極星へ翔る夜鷹生きよ生きよ

遠藤玲奈(東京都文京区)

銀漢や国境線の無き海図

猪俣ま悠(東京都練馬区)

限りある心音限りなき銀河

宮崎絢陽(三重県名張市)

オルゴール開けば星の子守唄

金澤ひろあき(京都府京都市)

ふるさは星ありすぎて泣けてくる

内藤保幸(神奈川県平塚市)

争へば失ふばかり春北斗

河本朋広(神奈川県藤沢市)

銀漢や地図より消えし国いくつ

中里とも子(長野県長野市)

春の星眠る子牛の長睫毛

大森則子(栃木県鹿沼市)

火焰土器身震ひするや流星群

森野哲州(大阪府堺市)

オリオンの跨ぐ岬や波昏し

鮫島沙女(東京都千代田区)

夕星へ続く石段夏祭

暖井むゆき(大阪府茨木市)

盤上は銀河を渡る駱駝の眼

さ青(愛知県豊田市)

ブツダガヤの砂曼茶羅や星月夜

田中和美(神奈川県横浜市)

牛石の深き鼓動や天の川

菅井香永(大阪府枚方市)

合鍵をポストに落とし冬銀河

阿部徳和(宮城県多賀城市)

蜥蜴の尾いま流星になる途中

ぐ(神奈川県横浜市)

祈るとはただ名を呼ぶこと流れ星

北村ふじ子(埼玉県上尾市)

蛙出で田毎に祝詞(うた)と千の星

東恵美(大阪府交野市)

湯立する巫女の絹ずれ星まつり

松崎幸子(大阪府交野市)

星祭る野や公達の悲話いくつ

新谷壯夫(大阪府枚方市)

星空の下ではいらぬディスプレイ

新井久美子(茨城県結城市)

流星や母の写真は引き出しに

永盛けい子(茨城県結城市)

## 交野市教育長賞

ほしのこをかいわたしはほとけのこ

玉本 琉月奈(大阪府枚方市)

## 枚方市教育長賞

せつなさが視覚化されてゆく銀河

蔣騰(東京都江戸川区)

## 星田妙見宮賞

翼まだ我にもあるか星月夜

佐藤 詠子(宮城県名取市)



▲今回の作品を作るきっかけとなった絵を会場に持って来ていただきました



▲オンラインでLIVE出演していただきました。素敵な浴衣でのご出演に感謝です。

3000通の中から12名が入選されました  
みなさまおめでとうございます！

あらためて言葉はガラス天の川

和田康(奈良県奈良市)

天の川落つる海へと漕ぎ出でぬ

山島美紀(三重県伊賀市)

好きならば告白せよと冬銀河

古賀敏真(佐賀県鳥栖市)

天狼に影すら息を呑んでいる

井上諒介(奈良県奈良市)

星見上げ空海と会う夢を見る

松浦博孝(大阪府交野市)

極星へ翔る夜鷹生きよ生きよ

遠藤玲奈(東京都文京区)

銀漢や国境線の無き海図

猪俣ま悠(東京都練馬区)

限りある心音限りなき銀河

宮崎絢陽(三重県名張市)

オルゴール開けば星の子守唄

金澤ひろあき(京都府京都市)

ふるさは星ありすぎて泣けてくる

内藤保幸(神奈川県平塚市)

争へば失ふばかり春北斗

河本朋広(神奈川県藤沢市)

銀漢や地図より消えし国いくつ

中里とも子(長野県長野市)

春の星眠る子牛の長睫毛

大森則子(栃木県鹿沼市)

火焰土器身震ひするや流星群

森野哲州(大阪府堺市)

オリオンの跨ぐ岬や波昏し

鮫島沙女(東京都千代田区)

夕星へ続く石段夏祭

暖井むゆき(大阪府茨木市)

盤上は銀河を渡る駱駝の眼

さ青(愛知県豊田市)

ブツダガヤの砂曼茶羅や星月夜

田中和美(神奈川県横浜市)

牛石の深き鼓動や天の川

菅井香永(大阪府枚方市)

合鍵をポストに落とし冬銀河

阿部徳和(宮城県多賀城市)

蜥蜴の尾いま流星になる途中

ぐ(神奈川県横浜市)

祈るとはただ名を呼ぶこと流れ星

北村ふじ子(埼玉県上尾市)

蛙出で田毎に祝詞(うた)と千の星

東恵美(大阪府交野市)

湯立する巫女の絹ずれ星まつり

松崎幸子(大阪府交野市)

星祭る野や公達の悲話いくつ

新谷壯夫(大阪府枚方市)

星空の下ではいらぬディスプレイ

新井久美子(茨城県結城市)

流星や母の写真は引き出しに

永盛けい子(茨城県結城市)



(上・右) 星田妙見宮境内には、色とりどりの俳句の短冊が飾られ、多くの参拝者の方々が写真に撮られたり、作品に見入ったりされていました。



▲ビデオレターでコメントをいただきました。



## 審査員グランプリ作品講評

グランプリは、様々な優秀な作品の中でも一つ頭を抜けて格調が高く、句柄が大きいものです。圧倒的なこの広さ。天の川、そして今度は海のクジラ。クジラは動いている。そして海原、まっ平だった海を引き裂いていく。その姿と天の川が、まるで鏡に映した二つの像のようです。同じような雄大な宇宙的なドラマが起きている。現在起きているコロナや紛争、争い貧困などで苦しんでいる私たちを超えた、心の広がりや安らぎ、あるいは我々を包んでいる何か大きな力を、この句は感じさせてくれます。

横幕さんは、久しぶりに作った句とおっしゃっておられました。やはり星の伝説だけでなく、この地域、「交野ヶ原」には俳句を含めた詩歌を生み出す力が眠っているのではないかと感じます。このコンテストが続いていくことで、さらにこの力が目覚め、活発になっていくことを願っています。

～ YouTube 表彰式での講評より抜粋～

# 第3回 星の俳句コンテスト開催 世界35カ国から3000通の応募をいただきました！

令和元年からスタートした星の俳句コンテストも、おかげさまで令和4年となる今年、3回目の迎えることができました。

今年は実に3年ぶりとなる星田妙見宮七夕祭の開催が決定し、七夕の5色の短冊を模した応募用紙とオンライン投句のハイブリッド形式で俳句の募集を実施しました。

その結果、応募総数3000通が集まり、日本を含む世界35カ国からの応募をいただきました。前回よりも約900通、参加国数も9カ国増え、地域や国境を越えた広がりを実感しました。表彰式では、現地参加・オンライン出演・ビデオレター出演・コメント紹介の4パターンの出席方式を用意し、遠方の受賞者の方にも表彰式に携わっていただけるよう工夫をしました。

表彰式当日には3名の受賞者の方が星田妙見宮の表彰式会場にお越しになり、司会のインタビューに応じて、受賞の喜びをお話くださいました。

審査員は、現代俳句の嚆矢である夏石番矢先生にお務めいただき、グランプリの賞状授与ならびに各作品の講評をしていただきました。

今年、YouTubeLiveでの表彰式の生中継は2回目になります。中継開始直後、電波状況から音声と映像に乱れ生じ、ご覧になっている方には大変ご心配とご迷惑をおかけしました。実行委員一同、この場をお借りして心よりお詫び申し上げます。

## 佳作 中高校生の部

東京都立大泉高等学校附属中学校

冴ゆる夜に温かな笑み星の下  
梅澤さくら

関西創価中学校

愛読書一度開けば空に流星  
森本啓太郎

兵庫教育大学附属中学校

天の川光るものだけが星じゃない  
田中颯人

川辺町立川辺中学校

流星群何個見つけたさあ勝負  
木下真心

岩手県立水沢高等学校

星は飛ぶ私がいなくてもいなくても  
鈴木綾乃

愛知県立幸田高等学校

漁船のエンジン唸る早星  
宇野ひなた

幼児の絵二筆書きの寒昴  
大竹佑季

彗星は見えるだろうか独活刻む  
難波晴菜

審査員は、現代俳句の嚆矢である夏石番矢先生にお務めいただき、グランプリの賞状授与ならびに各作品の講評をしていただきました。

星田妙見宮七夕祭も3年ぶりの開催とあり、6日と7日の2日間で、のべ1万人を超す来場者で賑わい、多くの方々が、境内に飾られた色とりどりの短冊と俳句作品を手にとって見たり、写真に撮ったりして楽しんでおられました。

今回、YouTubeLiveでの表彰式の生中継は2回目になります。中継開始直後、電波状況から音声と映像に乱れ生じ、ご覧になっている方には大変ご心配とご迷惑をおかけしました。実行委員一同、この場をお借りして心よりお詫び申し上げます。

▼交野市長賞の賞状授与は、交野市長と交野市ゆるキャラの「おりひめちゃん」から。枚方市長賞は、当日ご公務の都合で出席できなかった枚方市長の代行として、枚方市ゆるキャラの「ひこぼしくん」が賞状を授与しました。



**審査員(夏石番矢)グランプリ**  
**天の川海原を裂く鯨の背**  
横幕 風子(大阪府交野市)

**大阪府知事賞**  
**夢があるなら叶えよう流星のコックピット**  
永井 まり子(埼玉県熊谷市)

**交野市長賞**  
**難産のやがてしづかに秋の星**  
青山 和加(済美平成中等教育学校)

**枚方市長賞**  
**ながればし神が拭ったなみだだよ**  
藤原 純平(交野市立藤が尾小学校)

## 佳作 小学生以下の部

星ひかる宇宙に行きたい小学生

星広がる夜空はまるで私のように  
小泉直音

群青に咲く星を見た手で掴む  
金杉海澄

橋の上寝転び見上げた天の川  
水田莉陽

見てをれば月兎も飽きむ青き星  
黒川珠梨

夏闇も狼走る星も好き  
乾真央

大阪桐蔭中学校高等学校

星が欲しい新しい世界作り出す  
西川瑞姫

昴より届く光を黙殺す  
谷浩文

星の夜家を飛びだし走り出す  
太田智彩

シリウスの光に負けぬ底力  
浦本優

星雲の弦奏でる琴の音(ね)十の色  
安田怜央

昼だけと星がこつちを見えますよ  
枝根颯汰

天の川かぞえきれない課題かな  
山岸有亜

星々を見てはしゃぐあなたの美しい笑顔  
池上蓮

いただいた応募の中で学校単位で応募(学校名記載・2名以上応募)してくださった学校名を掲載します。

## 学校から応募いただきました

- 愛知県立岡崎東高等学校
- 愛知県立幸田高等学校
- 茨城県立結城第二高等学校
- 岩手県立水沢高等学校
- 愛媛県立今治西高等学校伯方分校
- 大垣市立墨俣小学校
- 大阪桐蔭中学校高等学校
- 大阪府立交野高等学校
- 海城中学高等学校
- 川辺町立川辺中学校
- 関西創価中学校
- 関西大学第一中学校
- 埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園
- 四條畷学園高等学校
- 済美平成中等教育学校
- 致理科技大学(台湾)
- 東京都立大泉高等学校附属中学校
- 土岐市立泉中学校
- 栃木県那須塩原市立高林中学校
- 白鷗大学足利高等学校
- 秦野市立南小学校
- 兵庫教育大学附属中学校
- 枚方市立禁野小学校
- 枚方市立牧野小学校
- marugakuen。○学園



表彰式LIVE

# 当日編

The event day

実行委員メンバーは 14 時に集合し、準備開始。夕刻になるにつれて3年ぶりの開催となる星田妙見宮の七夕祭に訪れる人々の数がだんだんと増えていきます。夕日の差し参道に提灯の光が灯され、星田妙見宮の総代の方々の手によって笹につけられた色とりどりの俳句の短冊が風に翻る光景はとても美しく、荘厳でした。



▲表彰式会場は星田妙見宮の境内の奥まった場所にありましたが、周りには多くの参拝客の方が進行を見守っておられました。

▼親子連れや子どもたちに大人気のもずやん



▲受賞者の方から事前にいただいているビデオレターやコメント内容は会場の皆様にもご覧いただけるように表彰式の進行に合わせてプロジェクターで上映。



▲地元の藤が尾小学校の子ども達と校長先生が、枚方市長賞を受賞した藤原さんの応援に駆けつけてくれ、応援の音が飛び交いました。

# 海外編

Overseas



第3回星の俳句コンテストでは海外 34 ヶ国・117 通の応募をいただきました。応募のあった国名と応募数を記載します。数字が記載されていない国は 1 通の応募を意味します。

★ヨーロッパ 58…Croatia10/Serbia9/England9/Bulgaria7/Poland7/Romania3/Azerbaijan/Bosnia and Herzegovina/French/Switzerland/Netherlands/Kyrgyzstan/Greece/Italia/Ireland/Hungary/Russia/Montenegro/Lithuania/★アジア 31…India12/台湾7/Indonesia4/Filipin3/Singapore/Thailand/Bangladesh/Turkey/Tajikistan/★オセアニア 11…New Zealand7/Australia4/★アメリカ大陸 15…United States12/Canada2/Nicaragua★アフリカ大陸 2…Ghana2

# 準備編

Preparation



▲審査委員長を務めていただいている、夏石番矢先生。現代俳句の嚆矢であり、明治大学法学部教授をされています。2000 年には世界俳句協会を創立し、世界各国の詩人や俳人の方との交流や俳句翻訳などを通じ「世界俳句」を目指して精力的にご活躍されています。

「天の川・交野ヶ原日本遺産プロジェクト実行委員会」という、星にまつわる伝承・地名が多く残る「交野ヶ原」の魅力を発信していこうと 2016 年から活動する有志の市民プロジェクトが主催となって、今年で第3回を迎える当コンテスト。作品の募集期間は毎年 4/1～5/31 の 2 か月間です。今年には新たに、イズミヤ枚方店様にご協力をいただき、店内催事スペースで特設ブースを設置させていただきました。また、枚方市内にキャンパスがある関西外国語大学の学生ボランティア団体「ひまわり」さんにご協力をいただき、イズミヤ特設ブースや短冊の紐付けなどのお手伝い、海外向け Web サイト翻訳、外国の方への文書、受賞コメント英訳など英語にかかわる作業について多岐に亘るご協力をいただきました。



▲夏石番矢先生の選が終わり、オンライン投稿の俳句も含むすべての短冊に紐付けが完了。



▲4/2～5/12 までの約 1 ヶ月間、イズミヤ枚方店様の正面玄関前特設ブースにて俳句を募集。44 通の応募作品が集まりました。

7月7日 星田妙見宮

## もずやん & 事務局長 2コマ劇場



事：大阪府知事賞はこちらのモッピーから…  
も：……(なんやて)!!?



も：バシッ(なんでやねん!)  
事：あっ!!もずやんだ!昔の名残で言っちゃったゴメンゴメン!!  
も：(ぼくはもずやんやで!ぶんぶん)

▲もずやんのことを「モッピー」と紹介してしまった事務局長に、秒でもずやんのツッコミが炸裂(流れは右 YouTube 参照)。ごめんねもずやん。



# 第3回 星の俳句コンテスト ができるまで

How to make the 3rd Star Haiku Contest!



▲星田神社参集殿にて、作品を笹に飾るための糸付け作業を行いました。3,000 通の作品の糸付けにかかった時間は約 4 時間。



# リハ編

Rehearsal

6/19 にリハーサルを実施。第 2 回星の俳句コンテストのオンライン配信をした時には、屋内の安定した状態で配信を行いました。今回は初めての完全屋外。電源や電波状況、配線、舞台上の司会や受賞者の立ち位置など確認しました。



▲上・司会の二人。▼下・配信担当。



▲カメラの画角やハウリングを起こさないためのマイク・スピーカーの位置など入念にチェック。試行錯誤を繰り返しました。



◀メンバーを守ってくれる現場の強い味方、蚊取り線香。